

令和7年度

第1回山形県介護支援専門員法定外研修

事例で深まる介護支援専門員の課題解決法

～CADLで導く利用者及び家族の意向とケアプラン作成のヒント～

CADLと「らしさ」～本人支援の“新しい視座”～（CADLハンドブック）の「**CADL**」（文化的日常生活行為：Cultural activities of daily living）の著者が直伝！

CADLの考え方から利用者及び家族の意向が明確になり、課題解決のためのケアプラン作成ができるようになるあっという間の4時間です。今年1月に開催した**ZOOM**研修会の反響が凄く、今回特別に山形でのリアル開催が決定しました！直接顔を合わせて学びあえる貴重な機会となりますので、ぜひご参加ください。



【講師 ふくしの人づくり研究所 奥田 亜由子氏】

日本福祉大学を卒業後、知的障害者入所施設で生活指導員として勤務した後、社会福祉士として在宅介護支援センターの立ち上げに関わる。介護保険制度開始とともに、介護支援専門員として居宅介護支援事業所の立ち上げを担うとともに、国の指導者研修に参加し、法定研修の講師としても活動し、現在に至る。日本福祉大学大学院で福祉マネジメント修士を取得。日本福祉大学や立教大学などでの非常勤講師を務めるなど、社会福祉士の養成などを現在も担っている。

日時：令和7年7月4日（金）10:30～16:00

場所：緑の迎賓館アンジェリーナ

（〒994-0028山形県天童市鍬ノ町2丁目1-50）

対象：介護支援専門員

定員：50名

参加費：2,200円（税込）

※山形県老協会員施設は無料です

申込期限：令和7年6月27日（金）

当日はご自身の事例を持参していただきます

申込受付はこちらから



※この研修は、介護支援専門員の資質向上に必要な知識・技術を修得するための研修であり、主任介護支援専門員更新研修の受講要件となる法定外研修となります。